

令和8年度国債発行予定額

＜発行根拠法別発行額＞

(単位：億円)

区 分	令和8年度当初	令和8年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
新規国債	295,840	326,975	31,135
建設国債	67,160	67,160	—
特例国債	228,680	259,815	31,135
復興債	66	66	—
GX経済移行債	10,484	10,484	—
子ども特例債	5,072	5,072	—
半導体・AI債	7,872	7,872	—
財投債	130,000	130,000	—
借換債	1,357,586	1,357,586	—
国債発行総額	1,806,920	1,838,055	31,135

＜消化方式別発行額＞

(単位：億円)

区 分	令和8年度当初	令和8年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
カレンダーベース 市中発行額	1,685,000	1,685,000	—
第Ⅱ非価格 競争入札	50,490	50,490	—
年度間調整分	12,430	43,565	31,135
市中発行分 計	1,747,920	1,779,055	31,135
個人向け販売分	59,000	59,000	—
合 計	1,806,920	1,838,055	31,135

※1 令和8年度の市中からの買入消却については、市場の状況や市場参加者との意見交換も踏まえ、必要に応じて実施する。

※2 令和8年度における前倒債の発行限度額は約47兆円(変更前は50兆円)。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額(額面)の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格等を発行価格とする、価格競争入札等の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札等における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限)。令和8年度の第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債(40年債、30年債、20年債、10年債、5年債及び2年債)のカレンダーベース市中発行額の4.5%を計上している。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。